

# 道徳学習指導案 1

## 1 主題名 検査への迷い 4-(3) 公正・公平

### 2 主題について

新潟水俣病患者は、病気による苦しみとともに、さまざまな差別や偏見を受けてきた。患者ばかりではなく、その家族もまた同様に差別や偏見の目で見られた。具体的には、結婚、就職差別、さらには学校での「いじめ」の事例もあったという。

資料は、阿賀野川の川砂利の採取と販売を行っていた樋口幸二さんのお話である。樋口さんは、水俣病の症状があることを自覚したが、患者であるがために受けることが予想される家族への差別や偏見を考え、長い間検査を受けないできた。

水俣病の症状を自覚しながらも、患者への差別や偏見を恐れて自分が水俣病であることを隠して家族を守ろうとした樋口さんの苦悩、葛藤について考えさせることで、患者への差別、偏見がいかに辛い状況であったかを感じとらせ、差別解消への思いを深めていく。

### 3 ねらい

家族が受ける差別や偏見を恐れ、水俣病の症状を自覚しながら、そのことを隠して家族を守ろうとした樋口さんの苦しみを知り、差別・偏見への憤りをもつとともに差別解消への思いを深める。

### 4 展開のための視点

本資料は、樋口さんが水俣病の症状を自覚しているにもかかわらず検査に行くのを迷うところで終わっている。その後、樋口さんは仕事の砂利採取ができなくなるほど症状が悪化していく。子どもの結婚、就職が決まり、家族への心配がなくなってようやく水俣病の申請に踏み切ることになる。

ここでは、水俣病の症状を自覚していたにもかかわらず、家族への思い・愛情からアンケートに答えずに隠し続けた樋口さんの苦悩・葛藤と、その後の健診を受けるかどうか悩む樋口さんに対する家族の思いを双方向から考えさせていく。家族の樋口さんへの思いを共感的にとらせ、会話の言葉がけの中にある「あたたかさ」を感じ取らせるためにロールプレイを行う。

しかし、中学生という年齢ではロールプレイ自体を恥ずかしがる傾向もあり、クラスの実態によってはロールプレイの効果が期待できないことも考えられる。この場合には、展開例B案で、樋口さんと家族とまわりの状況とを具体的に見つめさせることで差別への憤りをもたせ、差別解消のために自分がなすべきことについて考えさせたい。

5-1 展開例 A

○学習活動●学習内容□主な発問	◇指導上の留意点	資料	配時 (分)
○阿賀野川の位置を確認し、写真を見て新潟水俣病はどんな病気だったかを想起する。	◇新潟水俣病発生位置、原因、症状を確認する。	・補助資料1 「新潟水俣病紹介写真」	5
□ 新潟水俣病が起こった阿賀野川の位置を確認しましょう。また、新潟水俣病はどんな病気でしたか。			
●新潟水俣病は公害病である。メチル水銀による中毒性の神経系疾患であり、感覚障害をはじめ様々な症状がある。			
○樋口さんの身体の具合が分かるところを読み進め「正直に答えられない」本当の理由をとらえ発表する。		・資料1「樋口さんの話(1)」	15
□ 樋口さんは、どうしてアンケートに「正直には答えられない」のでしょうか。正直に答えられない本当の理由は何だったと思いますか。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●樋口さんが黙っていたのは、差別への不安と家族への思いの両方があったのではないか。</li> <li>●黙るしかない厳しい差別があった。</li> <li>●樋口さんが黙っていなくてはならなかった差別の厳しさに憤りをもつ。</li> </ul>	◇補助資料2の提示により、病状を明らかにできないことの不条理、差別への不安に焦点化し、憤りをもたせていく。	・補助資料2 「差別の実態」	

○学習活動●学習内容□主な発問	◇指導上の留意点	資料	配時 (分)
○検査を「受診してほしい」とする立場から、子どもと父親の会話を考える。		・資料2「樋口さんの話2」	10
□ もし、あなたが樋口さんの子どもだったら、樋口さんにどんな言葉をかけて受診を勧めますか。また、父親はどう返答しますか。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●差別の不条理に憤る（子ども）。</li> <li>●自分に差別が及ぶ恐怖もあるが、それでも検査を「受診してほしい」と願う（子ども）。</li> <li>●子どもの気持ちをうれしいと思う反面、家族が差別に巻き込まれる不安が頭をよぎる（父親）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇不条理への憤りをもとに言葉を考えさせる。</li> <li>◇差別に立ち向かおうとする思いを表出させたい。</li> </ul>		
○受診しようか否か迷う父親の立場と、受診を勧める子どもの立場とでロールプレイを行う。		・資料「ロールプレイ」	10
□ あなたが考えた言葉がけでロールプレイをします。父親の立場の生徒は、子どもの意見に対してどう返答するか考えて演じましょう。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの思いやりの言葉に心を打たれ、差別を恐れてはいけないと感じる（父親）。</li> <li>●父親の健康を守ることが大切であり、自分に及ぶ差別を恐れてはいけないと感じる（子ども）。</li> <li>●差別は個人だけでなく家族にも苦悩・葛藤をもたらす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇演技の感情がこもるよう父親の恐れ、子どもの憤りに着目させる。</li> <li>◇代表生徒の発表では、父親、子どもの立場の違いがはっきりするような演技者を指名する。演技後、フロアーの生徒に父子それぞれの立場で感じたことを聞き、差別はあってはならないという気持ちを掘り起こす。</li> </ul>		

○学習活動●学習内容□主な発問	◇指導上の留意点	資料	配時 (分)
○樋口さんの話を通して学んだことをまとめる。			10
□ ロールプレイを通して差別に対してどう行動することが大切だと思ったかまとめましょう。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●家族の健康を優先する。</li> <li>●不当な差別に反対する。</li> <li>●声を大にして仲間を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ロールプレイで感じたことを振り返らせ、差別を恐れない勇気の大切さを強調したい。</li> <li>◇「ーをしない。」などの心構えだけでなく、行動することの大切さを指導する。</li> </ul>		

《評価》

病気への差別に憤るとともに、病気のつらさの中での樋口さんの家族への思いと父の体を気遣う子のあたたかい思いについて双方の立場から感じとり、差別解消のために取り組まなくてはならないことを具体的にあげることができたか、生徒の発言と振り返りのワークシートの記述でとらえる。

5-2 展開例B

○学習活動●学習内容□主な発問	◇指導上の留意点	資料	配時 (分)
○阿賀野川の位置を確認し、写真を見て新潟水俣病はどんな病気だったか想起する。	◇新潟水俣病発生位置、原因、症状を確認する。	・補助資料1 「新潟水俣病紹介写真」	5
□ 「新潟水俣病」が起こった阿賀野川の位置を確認しましょう。また、新潟水俣病はどんな病気でしたか。			
●新潟水俣病は公害病である。メチル水銀による中毒性の神経系疾患であり、感覚障害をはじめさまざまな症状がある。			
○樋口さんの身体の具合が分かるところを読み進め、アンケートに「正直には答えられないぞ」と思った理由や認定申請をしなかった理由をとらえる。		・資料1「樋口さんの話(1)」	15
□ 樋口さんは、どうしてアンケートに「正直には答えられないぞ」と思ったのでしょうか。また、どうして認定申請をしなかったのでしょうか。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●樋口さんが黙っていたのは、差別への不安と家族への思いの両方があったのではないか。</li> <li>●黙るしかない厳しい差別があった。</li> <li>●黙っていなくてはならなかったほどの厳しい差別に憤りを感じる。</li> </ul>	◇補助資料2の提示により病状を明らかにできないことへの不条理、差別への不安に焦点化し憤りをもたせていく。	・補助資料2 「差別の実態」	

○学習活動●学習内容□主な発問	◇指導上の留意点	資料	配時 (分)
<p>○検査を「勧める」樋口さんの子どもの思い、受診を勧められた樋口さんの思いをワークシートに書く。発表する。</p> <p>○樋口さんの子どもの思いを発表する。</p>	<p>◇樋口さんへの子どもの思い、樋口さんの思いを自分の「ことば」としてワークシートに書くことで、差別への憤りや父への思いやりの気持ち、父の思いを表出させる。</p>	<p>・資料2「樋口さんの話(2)」</p>	10
<p>□ もし、あなたが樋口さんの子どもだったら、どんな思いで樋口さんに受診を勧めますか。</p>			
<p>●家族を思いやることは大切である。</p> <p>●家族を苦悩に陥れる差別の現実には憤りをもつ。</p> <p>●父親の健康のためには差別を恐れない勇気が必要だ。</p>			
<p>○樋口さんが、子どもに受診を勧められた時の思いについて話し合う。</p>			10
<p>□ 子どもの受診の勧めを、樋口さんはどのように受け止めたのでしょうか。</p>			
<p>●子どもの差別を恐れない勇気に、心を打たれる。</p> <p>●家族が差別に負けずに差別に向かっている様子を見て、どう感じるか。</p> <p>●受診し自分の病気は何かはっきりさせたい。</p>	<p>◇自分が樋口さんの子どもであったら、差別にどう立ち向かうか考えさせる。</p>		
<p>○樋口さんの話を通して学んだことをシートに書く。</p>			10
<p>□ 差別に対して、どう行動することが大切だと思ったかをまとめましょう。</p>			
<p>●何よりも、家族の健康を優先する。</p> <p>●声を大にして、差別をなくそうとする仲間を増やす。</p> <p>●不当な差別や偏見に立ち向かう勇気が必要だ。</p>	<p>◇父親、子どもの思いを深める中から差別を恐れない勇気の大切さを強調する。</p>		

《評価》

病気への差別に憤るとともに、病気のつらさの中で樋口さんの家族への思いと父を心

配する子のあたたかい思いについて双方の立場から感じとり、差別解消のために取り組まなくてはならないことについて考えを深めることができたか、生徒の発言と振り返りのワークシートの記述でとらえる。

#### 【資料】

- ・資料1 樋口さんの話（1）
- ・資料2 樋口さんの話（2）
- ・ロールプレイ
- ・ワークシート（展開例A）「検査への迷い」
- ・ワークシート（展開例B）「検査への迷い」

#### 【補助資料1】「新潟水俣病の紹介写真・図」

- ・新潟水俣病発生地域の地図
- ・阿賀野川流域の暮らし（『未来へ語りついで』P.14 写真・砂利船・早朝の漁）
- ・昭和電工鹿瀬工場（『新潟水俣病のあらまし』P.12 写真・昭和電工鹿瀬工場の全景）
- ・水俣病の写真（『未来へ語りついで』P.18 図写真・生活するうえでの困ったこと・曲がったまま元にもどらなくなった指）

#### 【補助資料2】「差別の実態」

- ・嫌がらせのはがき（『新潟水俣病のあらまし』P.18 写真・送りつけられたいやがらせの手紙）
- ・患者さんに浴びせられた言葉  
「金銭目的のニセ患者」「補償金で水俣御殿を建てた」（『新潟水俣病のあらまし』P.18）

板書計画 「検査への迷い」

新潟水俣病はどんな病気か

<阿賀野川流域地図>

◎工場排水中に含まれたメチル水銀で汚染された魚を多く食べたために起きた公害病。

「正直には答えられないぞ」と思った理由は何か。

・差別への不安。  
・家族への思い。

<補助資料>  
手紙

厳しい差別の現実

どんな言葉がけ、どんな返答

<子ども>

- ・差別は許せない。
- ・父親を助けたい。
- ・自分に差別が及ぶ恐怖。

<父親>

- ・子どもの気持はちうれしい。
- ・家族が巻き込まれる不安。

<差別を恐れない勇氣>

- ・父→子が父を思う言葉に心打たれ、差別に立ち向かえる。
- ・子→差別、偏見よりも、父を助けたい。



## 7 資料

### ○資料1 樋口さんの話（1）

私の家は、代々阿賀野川の川砂利を取って、船で工事現場へ運ぶ仕事をしていました。私も、父とともにこの仕事に携わっていました。仕事の帰りには、船に積んだ投網で魚を捕って夕食の食卓を飾るとというのが毎日の生活でした。

昭和40年、私が32歳のころの事です。ちょうど子育ての真っ最中でした。既にこのころ、私は手足がひどくしびれたりめまいがしたりするようになっていました。病院に通いましたが、少しもよくなりません。船に乗っても力が入らず、ふらついてバランスを失うようになりました。

「おまえもそうか。実はおれもなんだ。」

近所での話題は、いつの間にかお互いの体の具合の話でもち切りになっていました。

ちょうどこのころ、県から「水俣病の症状があるかどうかについて」のアンケートが配られてきました。アンケートの設問をみて、私はすぐに「少くらしい身体の調子が悪くても、アンケートには正直に答えられないぞ!」と思いました。

当時、私の身の回りの多くの方は、症状があっても水俣病認定申請をしませんでした。なぜ認定申請をしなかったのか……。しなかったのではなく、申請できなかったのです。早い時期に水俣病の認定申請をした人の多くは、もう家族のことを気遣わなくてもよい年配の皆さんでした。私たちの年代の方は、水俣病ではないかというような症状があっても、黙っていようという気持ちの人がほとんどでした。

### ○資料2 樋口さんの話（2）

年月が経過しました。子どもの結婚、就職が決まり、家族への心配をあまりしなくてもよい年齢になっていました。でも、私の症状は一向に回復しませんでした。医者に診てもらい、薬を飲んでも、身体の症状は何も変わりませんでした。逆に年齢とともにますます手足のしびれが厳しく、歩行さえ苦痛になってきました。自分の体がとても切なくなってきました。この頃では、「自分の体がどうなっているのか検査を受けてみようか」と迷い始めています。

※資料1、資料2 新潟水俣病副読本『未来に語りついで』（新潟県）、『いっち うんめえ 水らった』（越書房）、『AGA草紙』（阿賀に生きる製作委員会）を参考に作成）

○ワークシート（展開例 A）

検査への迷い

名前 \_\_\_\_\_

- 1 新潟水俣病は、どんな病気ですか。
- 2 樋口さんは、どうしてアンケートに「正直に答えられないぞ」と思いましたか。  
あなたの考え
- 3 もし、あなたが樋口さんの子どもだったら、樋口さんにどんな言葉をかけて受診を勧めますか。①に書きましょう。また、父親はどう返答すると思いますか。②に書きましょう。

<p>◇ロールプレイのシナリオ</p> <p>A（親）；検査を受けようか、受けないにしようかどうしたのか。</p> <p>B（子）；受診した方がいいよ。どうしてかというと</p> <div data-bbox="188 1104 884 1249"><p>①</p></div> <p>※検査を勧める子どもの思い</p> <p>A（親）；</p> <div data-bbox="188 1350 884 1496"><p>②</p></div> <p>※子どもの思いを聞いた父親の気持ち</p>	<p>①のセリフを書いた理由</p>          <p>②のセリフを書いた理由</p>
--	--

- 4 ロールプレイをしたり、ロールプレイを見たりして感じたことを書きましょう。

<p>子</p>	<p>親</p>
----------	----------

- 5 差別に対してどう行動することが大切ですか。

○ワークシート（展開例B）

検査への迷い

名前 \_\_\_\_\_

1 新潟水俣病はどんな病気ですか。

2 樋口さんはどうしてアンケートに「正直に答えられないぞ」と思いましたか。  
あなたの考え

3 あなたが樋口さんの子どもだったら、どんな言葉をかけて受診を勧めますか。下の①  
に書きましょう。また、父親はどのように答えるでしょう。②に書きましょう。

◇シナリオ

A（親）；検査を受けようか、受けないにしようかどうしたものか。

B（子）；受診した方がいいよ。どうしてかというと

①

※検査を勧める子どもの思い

A（親）；

②

※子どもの思いを聞いた父親の気持ち

①の言葉かけをした「私」は、どんな思いだったのでしょうか。

「子どもの受診の勧め」を、父親（樋口さん）はどんな思いで受け止めて、②の言葉を話したのでしょうか。

4 「私」は、差別に対して、どう行動しますか。